

新城市学校給食基本方針に関する考え方

1 安全安心な給食の安定的な提供について

学校給食は「生きた教材」であり、正しい食生活の教育のために必要不可欠なものです。学校給食を「生きた教材」として使用するためにはそれが安全・安心であり楽しめるものでなくてはなりません。そして、学校給食が将来にわたり教育の礎となると考えられることから学校給食を途絶えることなく提供することが肝要となります。このことから、新城市の教育のためには学校給食を安全・安心で安定的に提供をすることが重要であると考えています。

2 食育の推進

自校調理方式から共同調理場方式に転換する中で、今まで栄養教諭を中核として推進してきた食育を途絶えることなく継承し、更なる食育の推進を図りたいと考えています。そのため給食を通して、食育の充実や指導方法、指導体制の充実を図っていきたいと考えています。

3 地産地消の促進

本市で実現できる、新たな地産地消の取り組み内容も創出していく必要があると考えています。

地域産物を活用した際の幅広い食品への対応や調理方法等を工夫することで地産地消の促進を図り、児童生徒の地域愛を育みながら本市の将来を担う人材の育成に繋がりたいと考えています。

4 郷土愛を育む献立の充実

新城市の歴史や風土などの伝統を守っていくことも学校給食では必要と考えています。その伝統を引き継ぎつつ更なる楽しみを見いだせるような献立の充実を図っていきたいと考えています。